

# DX加速化推進事業 DXハイスクール プラン集

デ=イ=連

一般社団法人デジタル人材共創連盟  
ver.10 (2024年3月21日更新)

- デジ連では教育委員会及び学校向けに、文部科学省「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」における「**DXハイスクールプラン集**」を作成いたしました。
- 本施策が発表された際に、教育委員会や学校から本事案に関する相談を受けてプラン作成に協力させていただければと存じます。
- プランは「【Aプラン-①】 【Aプラン-②】 デジタルを活用した情報Ⅱ、探究や課外活動の推進」「【Bプラン】 情報Ⅱや数学Ⅱ・B、数学Ⅲ・C等の履修推進プラン」「【Cプラン】 情報を重視したコース設置・学科転換プラン」「【Dプラン】 生成AIを活用した講座プログラム-DNPパッケージプラン-」「【Eプラン-①】 数理・データサイエンスを可視化して学ぶ-CASIOパッケージプラン①- 【Eプラン-②】 探究的な学びを深めるモバイルプロジェクター活用-CASIOパッケージプラン②-」の内容をベースに作成しています。これらのプランを構成するためにモジュールを準備し、各プランに適切に配置しました。各学校においては、これらのプランを元にモジュールの数を調整したり、機材の数を増減したりして、地域や学校の実態に応じたものを作成いただけるものとなっています。
- 本施策の目指すところであるデジタル等の成長分野の学部・学科への進学者が増えデジタル人材の増につながることは、弊社団のビジョンにも合致するため、より一層の思いで進めて参りたい所存でございます。

### デジタル人材共創連盟について

- デジ連は、文部科学省「高等学校情報科担当教員の配置状況及び指導体制の充実に向けて」の「産学官協議の場」として位置づけられています。  
[https://www.mext.go.jp/content/20221124-mxt\\_jogai02-000021518\\_001.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20221124-mxt_jogai02-000021518_001.pdf)
- デジ連は経済産業省の提言「Society5.0を見据えた中高生等のデジタル菅運活動支援のあり方提言」(2022.3.31)を社会実装するために作られました。  
[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/digital\\_kanren\\_bukatsu/20220331\\_report.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_kanren_bukatsu/20220331_report.html)

DXハイスクールの事業内容である「情報、数学等の教育を重視するカリキュラム」「ICTを活用した文理横断的な探究的な学びの強化」をテーマに、A①・A②・B・C・D・Eの6つのプランを作成しました。

これらのプランを構成するためにモジュールを準備し、各プランに適切に配置しました。

**各学校においては、これらのプランを元にモジュールの数を調整したり、機材の数を増減して地域や学校の実態に応じたものを作成していただけます。**

機器については、推奨品になります。外部機関との連携については一定額が必要と考え、割り当てています。この部分についてデジ連が教育委員会と連携して、企業や大学から人材を提供していただくことが可能です。詳しくはお問い合わせ (info@dle.or.jp) ください。

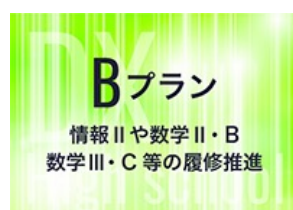
## プラン紹介



【Aプラン-①】  
デジタルを活用した情報Ⅱ、  
探究や課外活動の推進  
P.6



【Aプラン-②】  
デジタルを活用した情報Ⅱ、  
探究や課外活動の推進  
P.9



【Bプラン】  
情報Ⅱや数学Ⅱ・B、  
数学Ⅲ・C等の履修推進  
P.14



【Cプラン】  
情報を重視した  
コース設置・学科転換  
P.16



【Dプラン】  
生成AIを活用した  
講座プログラム  
-DNPパッケージプラン-  
P.19



【Eプラン-①】  
数理・データサイエンスを  
可視化して学ぶ  
-CASIOパッケージプラン①-  
P.24



【Eプラン-②】  
探究的な学びを深めるモバイル  
プロジェクター活用  
-CASIOパッケージプラン②-  
P.29

## モジュール（機材のセット）一覧

用途ごとに機材をモジュール化し、それを組み合わせてモデルプランを作成できるようにしています。既に学校にあるものはプランから外し別のものを購入する想定です。

モジュールNo.	項目	概要	詳細
01	デジタルものづくり	3Dプリンタ等	P.33
02	IoT【A】	簡単に取り組める外部機器、詳しくない人でも可能	P.34、P.35
03	IoT【B】	やや高度な外部機器、専門学科等に適する	P.36、P.37、P.38
04	IoT【C】	JavaScript/Pythonが使える外部機器、情報Iとの接続性が良好	P.39、P.40、P.41
05	高機能パソコン	GPU内蔵、AI対応、高速処理	P.42
06	内部サーバ	校内設置、管理必要	P.45
07	外部サーバ	レンタルサーバ&クラウド	P.46
08	遠隔授業	75インチモニタ+音響	P.47
09	ネットワーク	企業等で使う高機能なもの	P.48
10	理科実験	データロガー&センサ	P.22

※10は募集要項上、該当しなかったため削除しました。



## モジュール（機材のセット）一覧

用途ごとに機材をモジュール化し、それを組み合わせてモデルプランを作成できるようにしています。既に学校にあるものはプランから外し別のものを購入する想定です。

モジュールNo.	項目	概要	詳細
11	データ活用	大型モニタ	P.50
12	ビデオ編集	合成機材含む	P.51
13	画像・動画を加工するために必要なライセンス	情報科や探究学習、課外活動などでのデジタルクリエイティブ制作ツール	P.52
14	「情報Ⅱ」履修に向けた学習状況の把握	「検定試験 教科情報検定」受験により得ることができる 「情報Ⅰ」学習状況の把握 他	P.54
15	「情報Ⅱ」履修に向けたプログラミング能力の把握	エンジニアに必要な基礎知識を網羅 「情報Ⅰ」の履修中はもちろん、「情報Ⅱ」に取り組む前の理解度チェックに最適 他	P.58
00	高大連携&企業連携	-	P.61
00-1	情報デザイン実践	「情報Ⅱ」のコンテンツ制作能力が身に付く 等	P.62
00-2	地域から世界で活躍する理系人材の創出	アントレプレナーシップに関する既存講座を利用することで、目的に沿ったデータ活用を行い、データサイエンスの概念と技能を獲得する 他	P.63

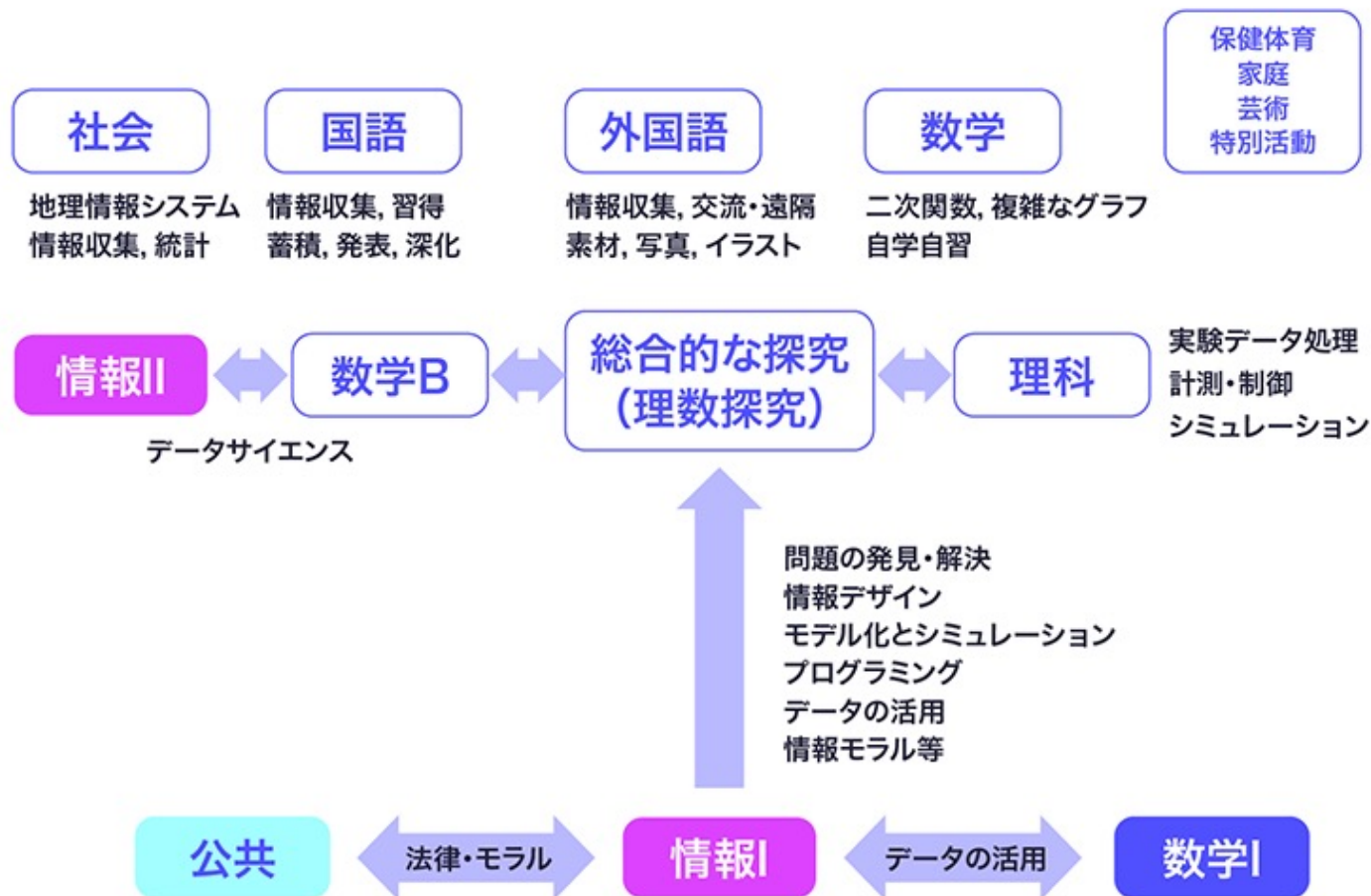
**A**プラン

**①**

**デジタルを活用した情報Ⅱ  
探究や課外活動の推進**

●ポイント

下記のような「カリキュラムマネジメント」「情報Ⅱの履修」を重視したプランです。



各教科等の指導におけるICTの効果的な活用に関する参考資料  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/mext\\_00915.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/mext_00915.html)

● 概要

「情報Ⅱ」の授業（コンテンツ作成、情報システムのプログラミング、データ活用）から、理科・数学の履修、デジタルを活用した探究活動、課外活動まで、どの普通高校にも適しています。

ネットワークやサーバ管理などの機材は入っていないので、情報のコースや学科を設置するには向いていないが、特別な知識や技術がなくても使える機材を選択しました。総合的な探究のアウトプットを映像で行ったり、学校紹介ビデオやWebページの作成、地域と連携したアプリ作成なども可能です。

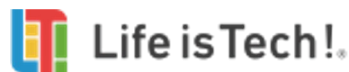
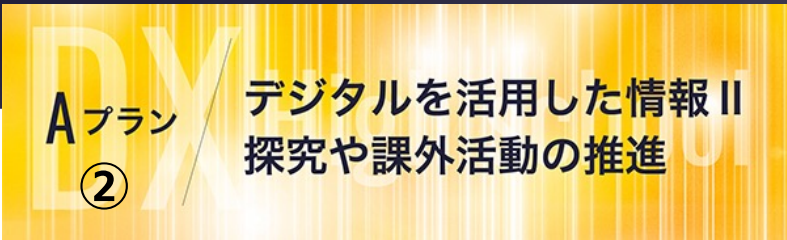
モジュールNo.	項目	概要	小計&合計 (税込)
01	デジタルものづくり	3Dプリンタ、レーザーカッター、ポスタープリンタ	100万円
02	IoT【A】	ワンボードコンピュータ50セット+センサ ※簡単に取り組めるもの	100万円
05	高機能パソコン	22台	330万円
07	外部サーバ	レンタルサーバ&AWS	50万円
08	遠隔授業	1教室分 75インチモニタ+カメラ+音響	20万円
11	データ活用	27インチモニタ+無線キーボード&マウス 22台	110万円
12	ビデオ撮影&編集	カメラ、マイク、ライト、高機能スイッチャー	50万円
13	画像・動画を加工するために必要なライセンス	情報科や探究学習、課外活動などでのデジタルクリエイティブ制作ツール	無料
00	高大連携&企業連携	人件費 2万円x105回 + 打ち合わせ費用20万円	230万円
00-1	情報デザイン実践	「情報Ⅱ」のコンテンツ制作能力が身に付く 等	※金額は00に含むものとする
00-2	地域から世界で活躍する理系人材の創出	アントレプレナーシップに関する既存講座を利用することで、目的に沿ったデータ活用を行い、データサイエンスの概念と技能を獲得する 他	※金額は00に含むものとする
			合計1,000万円



Aプラン  
②

デジタルを活用した情報II  
探究や課外活動の推進





● 概要

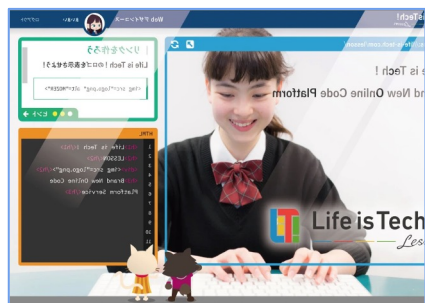
総合探究等におけるデジタル技術の活用機会や、情報&理数、またはその要素を含む教育内容の充実に向けた準備をするために最適なプランです。

デジタル活用

発展学習 (AI活用)

発展学習 (AI応用)

ライフイズテックレッスン



教員向け生成AI研修



生成AI 1 day 体験会



Z school



概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校向けEdtech教材</li> <li>・ 情報Ⅰに全対応</li> <li>・ 総探での活用も可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業での活用を目指した生成AIの仕組みを体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生成AIを活用したプロダクト開発体験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生成AIを活用した地域課題解決のためのプロダクト開発</li> </ul>
対象	希望者or全員	希望者	希望者or全員	希望者
期間	—	3日 (対面@弊社オフィス等)	1日 (対面@学校)	8ヶ月 (オンライン・週1回)
単価/税抜	2,500円～	3万6,000円～ +実費 ※2	250万円～ +実費 ※1	400万円～
最少履行人数	1学年～	1人～	40人～ ※41人以降は2万5千円/人追加	10人～ ※11人以降は40万円/人追加

※1 1day体験会は、現地訪問の交通費や宿泊費が別途実費として発生  
 ※2 教員向け研修は、参加する先生の都内までの交通費・宿泊費の実費が別途発生

●DXハイスクール事業説明会のご案内

(ライフイズテック主催)  
DXハイスクール説明会

アーカイブ動画・見積もりサポート申請を、下記QRコード・URLより閲覧・申込みいただけます。

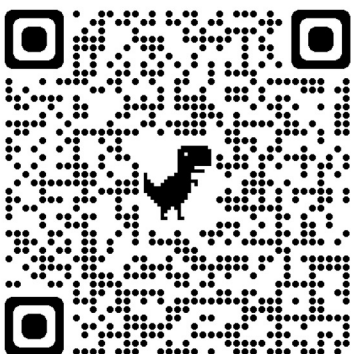
▶説明会アーカイブ動画



URL :

<https://lit.sh/dxhmovie>

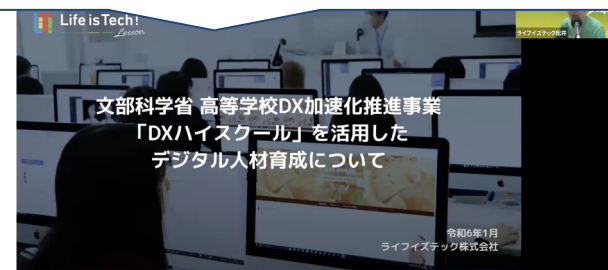
▶見積・申請サポートフォーム



URL :

[https://lit.sh/DXH\\_est\\_sup](https://lit.sh/DXH_est_sup)

DXハイスクール事業の概要や申請の流れ、活用できる弊社のサービス等をご紹介します。



質疑応答  
&  
各サービス概要

▼問い合わせ先

ライフイズテック 高等学校 担当

Mail: [gakkou@lifeistech.co.jp](mailto:gakkou@lifeistech.co.jp)

TEL:03-5877-4879 FAX : 03-5439-9423



● オプションサービス

デジタル基礎

ライフズテック  
レッスン  
AIドリル



共通テスト対策として、  
年3回の共通テスト模試と、  
600問のドリル型AI教材

概要

1年間

期間

デジタル制作

オリジナルWeb制作  
1day



自分だけのオリジナルWebデ  
ザイン作品を作り上げる  
1dayイベント

1日（対面）

TCW  
3daysCamp



ライフズテックの  
キャンプを学校で行い、  
アプリ開発やゲーム制作、  
デジタルものづくりの機会を  
提供

3日（対面）

## ● 事業計画

### 1、中長期的な取組

令和8年度の「情報Ⅱ」設置について、自校の教育課程に組み込む場合と、大学等その他教育施設における学修認定する場合の双方を検討する。また、「情報Ⅰ」のデータ活用に「情報Ⅱ」のデータサイエンスの内容を含んだり、総合的な探究の時間でデータ活用に関する指導を充実させたりすると共に、必要な教員研修及び授業への外部専門人材の参加を行う。これらについては、コーディネーター的役割を果たす外部団体や教育委員会と連携して、地元の大学や企業及びNPO等の協力を得て組織的な協力体制を構築する。

「情報Ⅱ」設置に向けて生徒に対する個別最適な学びを実現するため、世界的規模でIBMが提供するデジタル人材育成のためのコンテンツである[IBMスキルビルド](#)の活用を図る。その際、(一社)デジタル人材共創連盟が作成する「情報Ⅱ」学習指導要領との対照表を用いる。また、理数探究や理数系の学校設定科目の設置、多面的な入試についても準備を進める。

### 2、最初の年に行う取組

情報Ⅱ開設に向けてカリキュラムの専門家を招き、令和7年度入学生の教育課程を検討するとともに、担当教諭が情報Ⅱの授業を行うために必要な教員研修を行う。情報Ⅱのコンテンツ作成に相当する内容の授業を情報Ⅰのコミュニケーションと情報デザインの中で実施するとともに、総合的な探究でも実践的なコンテンツ作成の体験を行う。また、3Dプリンタなどを備えたものづくりスペースを設置し、教科等の特質を生かし、実験器具の作成、3D模型の作成、IoT機器の作成、STEAM教育などにグループで取り組ませる。このスペースは、「デジタルものづくり」の拠点として、高校生と地域住民や小学生が交流する中で学ぶことができるようにする。また、高度な理系科目の設置についても検討する。これらを行うために高度な外部人材の学校教育への活用を進めるとともに、情報系コンテスト等に向けた指導にも活用する。

### 3、特に効果があると考え、実施する取組

学校の行うキャリア教育に地元企業の開発者、技術者を招いて生徒が話を聞く機会を設け、理科や数学、情報と言ったデジタル人材育成につながる科目への興味・関心を向上させ、理系大学への進学を志す生徒を増やす。学校に招く開発者、技術者についてはジェンダーバランスに配慮し、女子生徒の理系進学については特に配慮する。

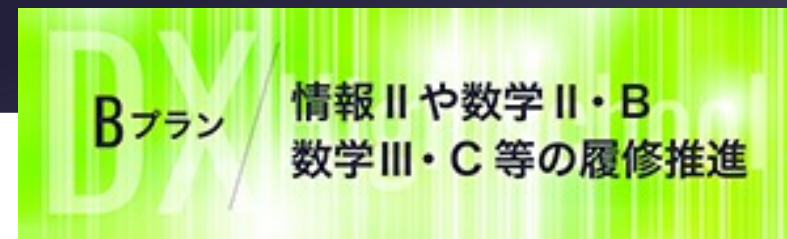
1、2、3を進める上で(一社)デジタル人材共創連盟と連携し、高度な外部人材とのコーディネート、個別最適な学びのためのコンテンツの供給、事業実施上のアドバイスなどを受ける。



**B**プラン

情報Ⅱや数学Ⅱ・B  
数学Ⅲ・C等の履修推進





## ●ポイント

- 情報Ⅱの履修にあたっては、データ活用、情報システムのプログラミングなどに企業や大学の方の指導が必要
- 地方の小規模校においては、発展的な理系科目の設置にあたって遠隔授業などの措置が必要
- データサイエンスやシミュレーションの実施、動画コンテンツの作成には、高機能なパソコンが必要
- このプランでは理系では1クラス分の数学Ⅱや数学Ⅲの履修が行われていることを考慮し、高機能パソコンを1クラス分配置しました。

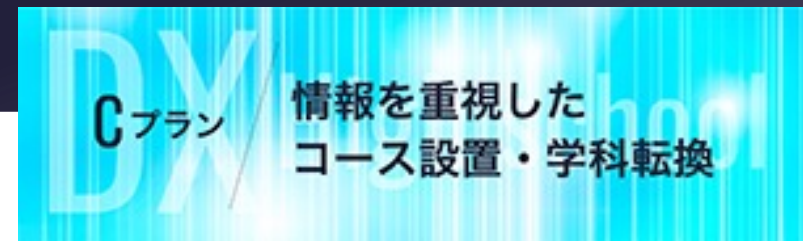
## ●概要

- 「情報Ⅱ」の課題研究のためにIoT【C】を、データ活用やコンテンツ作成のために高機能パソコンを、情報システムの作成のために外部サーバを準備し、企業や大学の方の助力を得て遠隔授業を行うための機材を5セット準備しました。
- これらは、**数学Ⅱや数学Ⅲ、他の理系科目を学習する際にも、生徒のキャリア教育にあたって外部の理系人材を活用する際にも効果を発揮します。**理科実験用のセンサやデータロガーを使用する場合は、別途購入する必要があります。

モジュールNo.	項目	概要	小計&合計 (万円)
02	IoT【C】	・ワンボードコンピュータ50セット+センサ ※JavaScript/Pythonが使えるもの	100万円
05	高機能パソコン	44台	660万円
07	外部サーバ	レンタルサーバ&AWS	50万円
08	遠隔授業	5教室分 75インチモニタ+カメラ+音響 ※各階1セット	100万円
00	高大連携&企業連携	人件費2万円x40回+打ち合わせ費用10万円	90万円
00-1	情報デザイン実践	「情報Ⅱ」のコンテンツ制作能力が身に付く 等	※金額は00に含むものとする
00-2	地域から世界で活躍する理系人材の創出	アントレプレナーシップに関する既存講座を利用することで、目的に沿ったデータ活用を行い、データサイエンスの概念と技能を獲得する 他	※金額は00に含むものとする
			合計1,000万円

**C**プラン

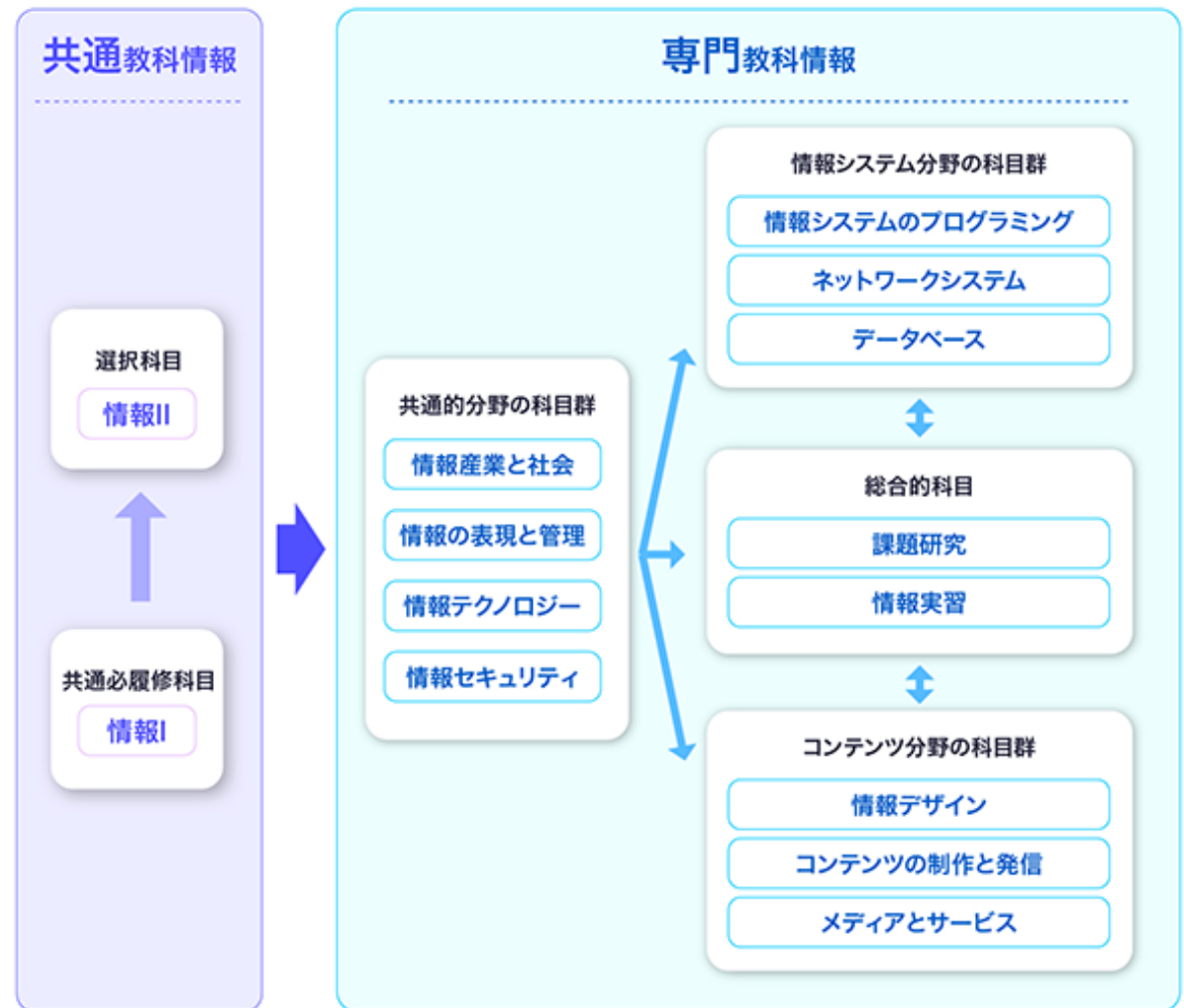
情報を重視した  
コース設置・学科転換

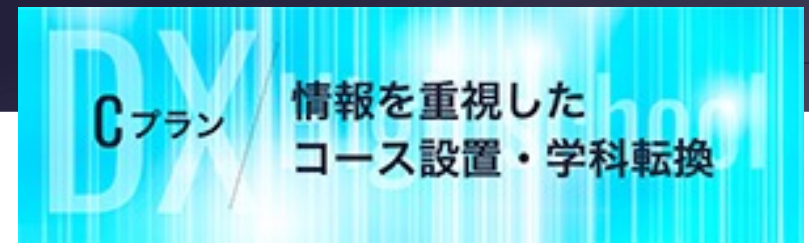


●ポイント

社会に出て活躍するための実践的な学びが必要です。

特に情報セキュリティ、情報システムのプログラミング、ネットワークシステム、データベース、コンテンツの作成、情報実習、課題研究には機材、人材が必要です。





● 概要

ネットワーク、情報セキュリティ、情報システムのプログラミングの実習に備えて内部サーバと外部サーバの両方を準備すると共に、企業用の高度な機能を備えたネットワーク実習機器を使用します。

また、情報実習や課題研究のために3Dプリンタ等のデジタルものづくりのための機器も準備しました。さらに、コンテンツ作成のためにビデオ撮影&編集のための機材を2セット準備しました。これらを活用させるために高機能パソコンを22台配置し、企業&大学からの指導を受けるため遠隔授業機器を2セット用意しました。

モジュールNo.	項目	概要	小計&合計 (税込)
01	デジタルものづくり	3Dプリンタ、レーザーカッター、ポスタープリンタ	100万円
03	IoT【B】	ワンボードコンピュータ50セット+センサ ※C言語に似た言語を使用	100万円
05	高機能パソコン	22台	330万円
06	内部サーバ	2台 ※生徒が実際のサーバを触って実習するため	50万円
07	外部サーバ	レンタルサーバ&AWS	50万円
08	遠隔授業	2教室分 75インチモニタ+カメラ+音響	40万円
09	ネットワーク実習用機器	-	100万円
12	ビデオ撮影&編集	カメラ、マイク、ライト、高機能スイッチャー 各2セット	100万円
13	画像・動画を加工するために必要なライセンス	情報科や探究学習、課外活動などでのデジタルクリエイティブ制作ツール	無料
00	高大連携&企業連携	人件費 2万円x60回+打ち合わせ費用10万円	130万円
00-1	情報デザイン実践	「情報Ⅱ」のコンテンツ制作能力が身に付く 等	※金額は00に含むものとする
00-2	地域から世界で活躍する理系人材の創出	アントレプレナーシップに関する既存講座を利用することで、目的に沿ったデータ活用を行い、データサイエンスの概念と技能を獲得する 他	※金額は00に含むものとする
			合計1,000万円

**D**プラン

# 生成AIを活用した 講座プログラム

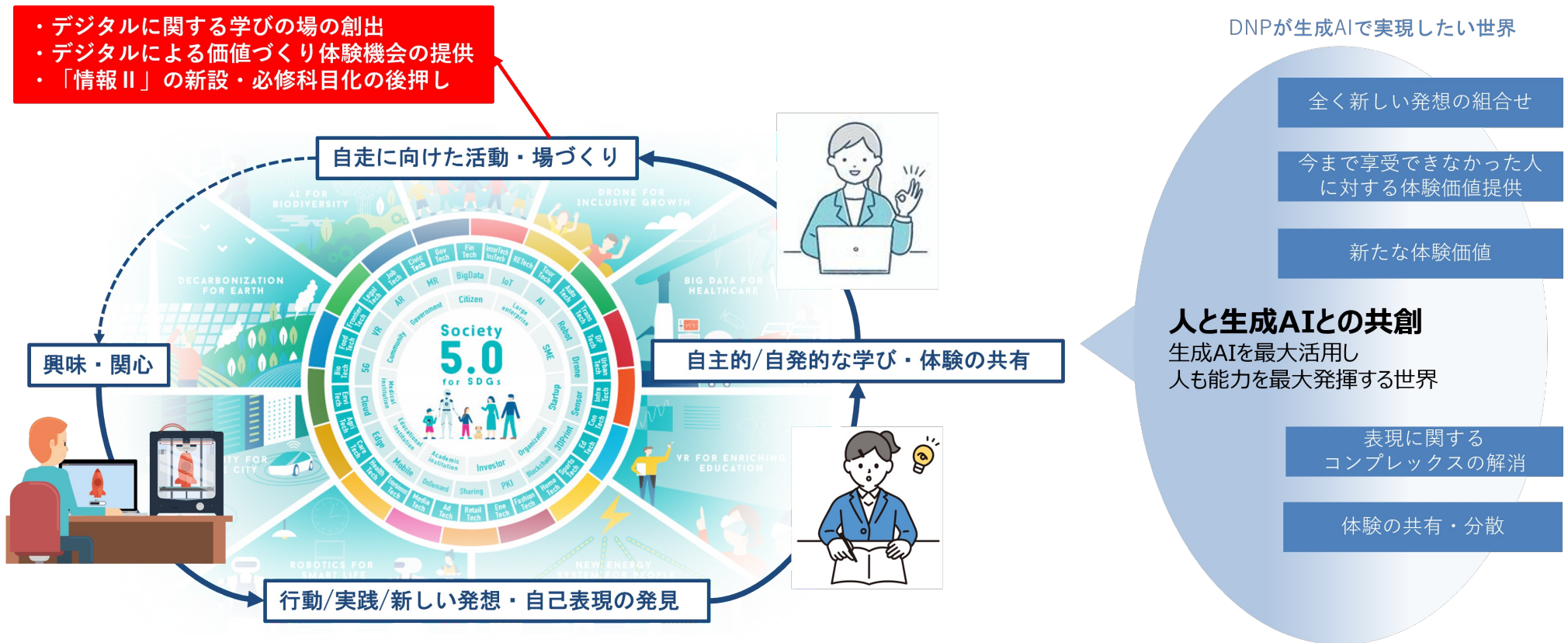
—DNPパッケージプラン—





●ポイント (企画コンセプト)

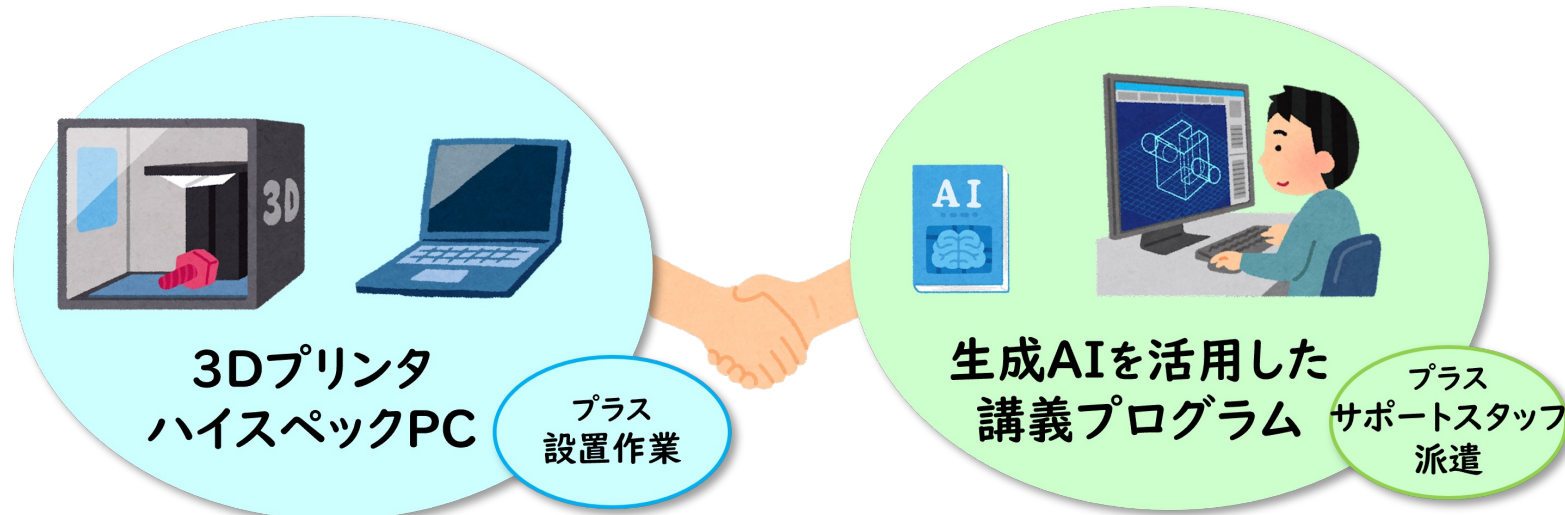
- DNPの「生成AIを活用した講座プログラム」の実施を通じて、高等学校DX加速化推進事業 (DXハイスクール) がめざす「高校段階におけるデジタル人材育成の抜本的強化」の実現をご支援します。



● 概要

日進月歩の生成AIについて、先生方へのご説明～実際の生徒様への実施プログラム、必要な機器の手配まで当社にて一貫してご提供いたします。

効果検証としてアンケート調査・分析を行い、学校様にご連携いたします。また、次年度以降の自走に向けたご支援をいたします。



【3Dプリンタ/ハイスペックPC】

ハードウェアに加え、画像生成AIや3D-CAD等のソフトウェアもご提供します。設置作業もお手伝いします。  
※機種や製品型番は別途ご相談となります

【講義プログラム】

有識者の監修を受けて開発したプログラムです。  
先生方への事前レクチャープログラム (DVDで提供)  
生徒へのプログラム (4コマ分)  
講義プログラム実施時にはサポートスタッフも派遣します。  
「情報Ⅱ(1)情報社会の進展と情報技術」  
「情報Ⅱ(5)情報と情報技術を活用した問題発見・解決の探求」の対応も視野

※対象は情報Ⅱの開設に向けて準備中の学校様、情報Ⅱを既に開設している学校様/選択科目から必修科目への移行をご検討中の学校様となります。

※DNPプランを参照して補助金申請いただく場合、必ず事前にご相談ください。対応可能な学校数には限りがございます。

## ● お見積り（概算）

項目	概要	小計&合計（税込）
1	3Dプリンタ 3台 ※機種、台数は応相談	1,200,000円
2	ノート型ハイスペックPC 10台 ※機種、台数は応相談	3D CADソフト、対話型生成AI、画像生成AI、PC キitting作業含む 4,700,000円
3	配送費	50,000円
4	設置作業・保守管理	900,000円
		合計6,850,000円

## ● 役務

項目	概要	小計&合計（税込）
1	講座プログラム利用費	600,000円
2	事務局費（販売管理費を含む） ※実施場所により交通費等の変動があります。	1,400,000円
3	先生向け生成AI体験 事前講座 （DVDによる動画学習、学習サポート）	500,000円
4	生徒向け基礎編講座 （50分×1コマ、30人程度1クラス）	100,000円
5	生徒向け応用編講座 （110分×1コマ、50分×1コマ、30人程度1クラス）	300,000円
6	効果測定	250,000円
		合計3,150,000円

総計（税込み）10,000,000円

【見積条件】・参考価格につき、一部内容が変更になる可能性がございます。  
・各種機器、先生向け事前講座の動画DVD、効果測定結果の納品を対価とする請負契約を想定しております。  
・詳細決定後には、最終見積りを提出させていただきます。  
・講座の実施時期は、学校様との各種調整及び機器納品完了後の10月以降を想定しております。





## ●先生方、学校様のお悩みにご対応します

### 先生方



#### 3Dプリンタや生成AIの知識が無く、不安

先生方に生成AIのもたらす可能性や倫理的問題などを事前に学んでいただく動画をご用意します。動画は繰り返しご視聴いただけます。

#### DXハイスクールに対応する講義プログラムの組み立て方が分からない

DNPのパッケージプランでは、情報IIで訴求される授業内容、情報IIの開設に向けた講義プログラムを、有識者の監修をもとに構成しております。

#### うまく実施できるか不安

DNPのパッケージプランでは、講師を各学校様に派遣し、講義プログラムを実施します。また当日の様子は自由に動画撮影いただき、後日ご活用いただくことも可能です。また、機器利用マニュアル・授業マニュアルをご提供いたします。

#### 次年度以降、自走できるか不安

上記マニュアルのご提供と、学校様で撮影いただいた動画のご活用を通じて、次年度以降の学校様での自走が可能です。

#### 効果検証や、評価への反映に不安

DNPのパッケージプランでは、講義プログラム内で生徒様に生成AIの活用や社会実装に向けた議論をしていただき、講義プログラム実施後のアンケートにて生徒様の理解度や興味・関心度などを図る効果検証を実施し、結果をご提示いたします。

### 学校様



#### 講義プログラム実施に必要な設備がない

3Dプリンタ、高性能PCなどのハードウェアに加え、必要なソフトもご提供いたします。

#### 機材が設置できるか不安

機材の設置もサポートいたします。

#### 【問合せ先】

大日本印刷株式会社 教育ビジネス本部  
03-6735-6195  
gsm\_edu\_gk@mail.dnp.co.jp

Eプラン  
①

数理・データサイエンスを  
可視化して学ぶ

—CASIOパッケージプラン①—



## ● 概要・ポイント

- 例えば、「数学B」の代替となる学校設定科目「ビジュアル数学B」を設定し、ClassPad.netの数学ツール(ClassPad Math)を用いて「情報Ⅱ」のデータサイエンス分野も含めて学ぶ。
- 例えば、「数学Ⅲ」の代替となる学校設定科目「ビジュアル数学Ⅲ」、数学Cの代替となる学校設定科目「ビジュアル数学C」を設定し、ClassPad.netの数学ツール(ClassPad Math)を用いて微分・積分及びベクトルなどの考え方を学ぶ。
- その他の数学、理科の科目にもClassPad.netを使用して考え方を可視化したり、内容の理解を深めたりすることで実践的な数理・データサイエンスの手法を身に付け、総合的な探究の時間などでも活用する。

	項目	個数	単価	小計 (円)
1	ClassPad.net 数学パッケージ (1年ライセンス) <small>※共通テスト必出数学公式180/数学Ⅰ・A基礎問題精講/数学Ⅱ・B基礎問題精講</small>	先生・生徒人数分	3,200	合計200名の場合 640,000
2	ClassPad.net 教員向け研修 (集合研修1回)	1	100,000	100,000
3	ClassPad.net 教員向けフィードバック研修 (集合研修1回)	1	100,000	100,000
4	ClassPad.net 登録作業補助 (管理者向け1回)	1	100,000	100,000
				合計 940,000

## できること

- 数学ツール「ClassPad Math」  
 ⇒グラフや図形、イメージしづらい数学公式が視覚的に学べる
- デジタルノート機能  
 ⇒紙のノートと変わらない操作感を実現する多彩なふせん機能
- 授業支援機能  
 ⇒課題配布・回収の手間を削減、生徒とのコミュニケーションを促進
- オンライン辞書機能 (数学関連)  
 ⇒端末利活用を促進するコンテンツ収録 (有償で追加可能)

## 留意点

- 上記数量・金額は参考値になります。
- 詳しくはお気軽にお問合せ下さい。

《DXハイスクールプラン お問い合わせフォーム》

下記をクリックしてフォームから入力をお願いします。

※ご不明点等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

⇒ [こちら](#)

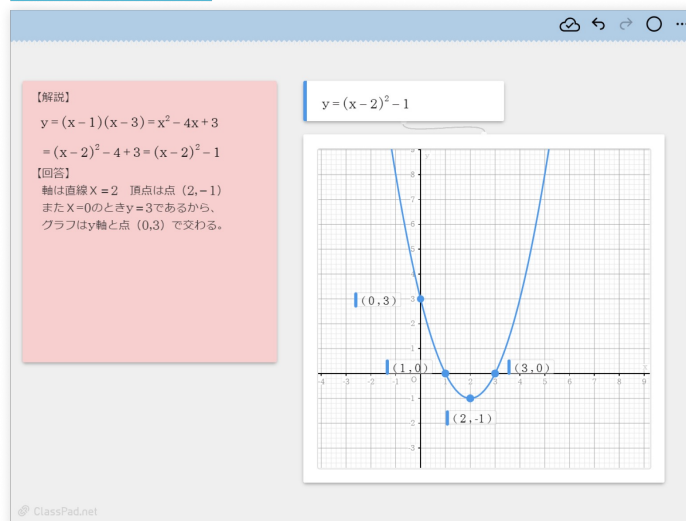
[https://casio-gakuhan.my.salesforce-sites.com/ccavisca/CC\\_TakeSurvey?id=a015j0000093uibEAA&cId=none&caId=none&Id=none](https://casio-gakuhan.my.salesforce-sites.com/ccavisca/CC_TakeSurvey?id=a015j0000093uibEAA&cId=none&caId=none&Id=none)

# ① 数学ツール「ClassPad Math」

グラフや図形、イメージしづらい数学の公式が視覚的に掴める高度な数学ツール「ClassPad Math」。変数などの数字を変えながら視覚的な変化を何度でも納得いくまで試せるため、より生徒の興味を高めながら、理解を深めることができます。



## グラフ

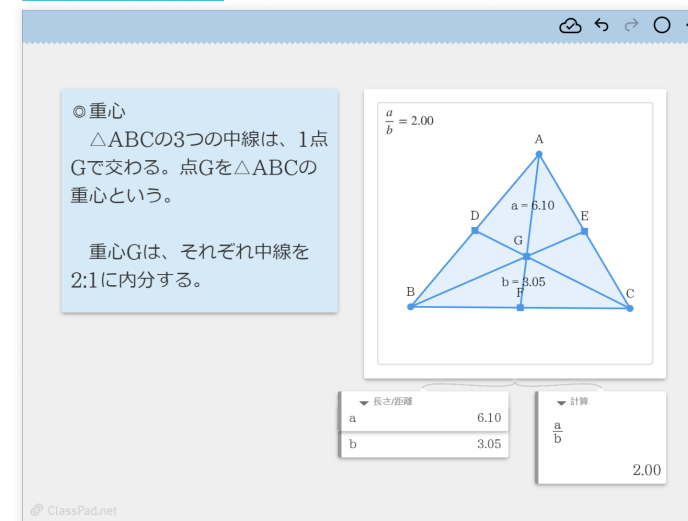


- 数式を入力する事で様々なグラフを瞬時に描画できます
- 変数、定義域を変化させる様子を視覚的に見せることで、グラフの特性の理解を促進します

<数学の授業例>

<https://classpad.net/jp/school/material/002/>  
<https://classpad.net/jp/school/material/008/>

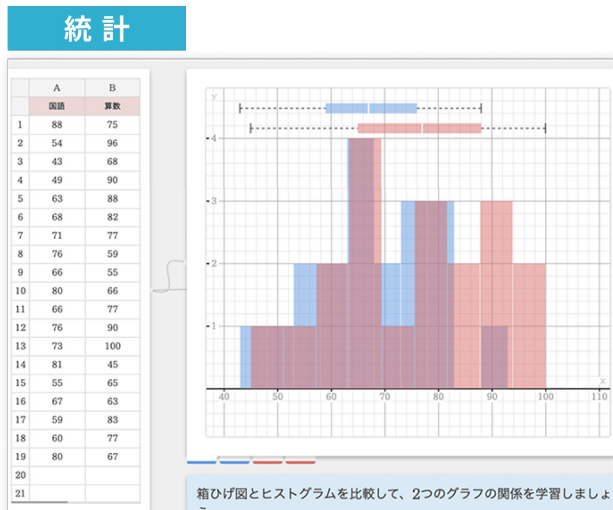
## 幾何



- 簡単に図形を作成できます
- 描画した図形を変化させることで、公式や定理を視覚的に確認することができ、理解や知識の定着を促進します
- 作成した正確な図形を生徒に配布することができ、先生・生徒間で共有できます

<数学の授業例>

<https://classpad.net/jp/school/material/019/>  
<https://classpad.net/jp/school/material/001/>



- 数値の入力により統計計算や統計グラフの描画ができます。
- 複雑なグラフも簡単に描けるので板書の時間を削減し、授業の効率化ができます。
- 統計データを視覚的に捉えることができます。
- 統計学習で、シミュレーションをしながら仮説を確認できます。

### 数式入力

【例題】  
次の2次関数のグラフの軸と頂点を求め、  
グラフをかきなさい。  
 $y = (x-1)(x-3)$

数字 数学記号 インタラクティブ abc 手書き

実行

- PCで入力しにくい数式も簡単に入力・表示する事ができます。
- 数式を含んだノートやメモを作成できます。

<数学の授業例>

<https://classpad.net/jp/school/material/002/>

### 関数計算

$$\int_0^{\pi} \sin(x) dx = 2$$

$$e^{i\pi} + 1 = 0$$

$$\sin\left(\frac{1}{2}\pi\right)^2 + \cos\left(\frac{1}{2}\pi\right)^2 = 1$$

- 数式を入力すると、様々な計算ができます。
- 解答の確認や複雑な計算に便利！

### 数学公式集

高校数学公式集

[116] 三角関数の基本性質 ★★

$$\sin(-\theta) = -\sin \theta, \cos(-\theta) = \cos \theta$$

$$\tan(-\theta) = -\tan \theta$$

$$\sin(\theta + 2n\pi) = \sin \theta, \cos(\theta + 2n\pi) = \cos \theta$$

$$\tan(\theta + n\pi) = \tan \theta$$

$$\sin(\theta + \pi) = -\sin \theta, \cos(\theta + \pi) = -\cos \theta$$

COMMENT 原点中心に半径1の円(これを単位円という)を考え、円周上に点P(x, y)をとる。原点OとPを結ぶ線分とx軸の正方向とのなす角をθとすると

$$\cos \theta = x, \sin \theta = y, \tan \theta = \frac{y}{x}$$

と、3つの三角関数を定義する。これは数学Iで学んだ三角比(0 ≤ θ ≤ π)の拡張になっている。  
上に述べた公式は、単位円周上の点の位置関係を考えて導くことが容易に理解できる。

共通テスト必出  
数学公式  
180  
[116] 三角関数  
辻 義博 著  
旺文社

- EX-wordふせんの数学公式集を表示して解説する事で板書の時間を削減できます。

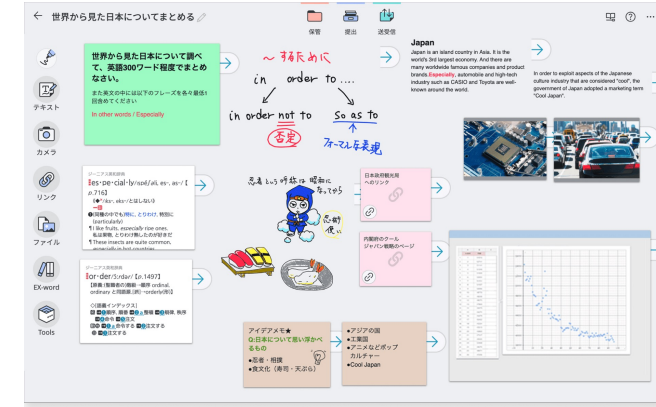
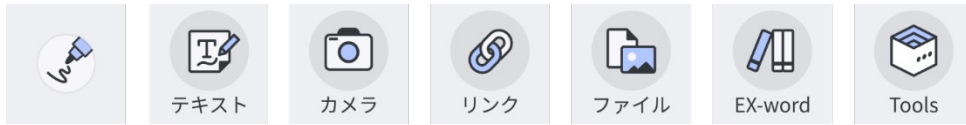
<数学の授業例>

<https://classpad.net/jp/school/material/012/>

## ② デジタルノート機能

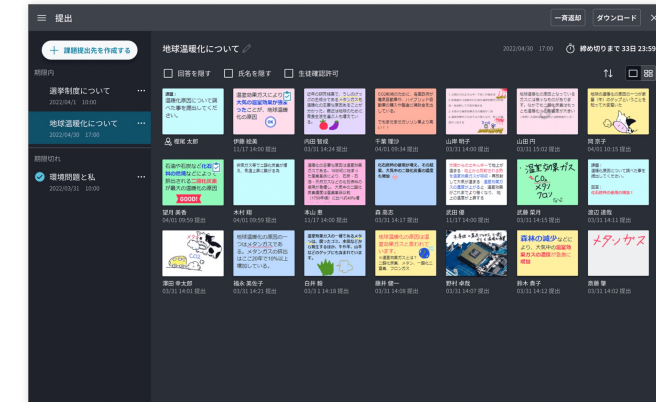
板書の手間を省き、その分の時間を有効に活用  
自分で調べてまとめることで生徒の思考力が高まる。

紙のノートと変わらない操作感を実現する多彩なふせん機能  
新規ノートブックを開いて使いたいふせんのアイコンをクリックして  
さまざまな機能をお使いいただけます。



## ③ 授業支援機能

オンライン授業・双方向授業に役立つコミュニケーションツール  
先生・生徒間のコミュニケーションを促進し、  
課題配布・回収の手間を削減！



## ④ オンライン辞書機能（数学関連）

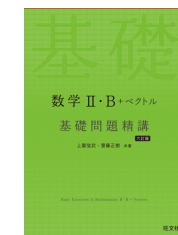
カシオの電子辞書“EX-word”から厳選した高校生のための辞書。  
もちろん、“EX-word”の内容はそのままにClassPad.net用に  
使い勝手を磨きました。ログインすればどこからでも利用できるので  
「調べる機会」がこれまで以上に広がります。



高校数学公式集



数学問題集  
数学I・A  
基礎問題精講



数学問題集  
数学II・B  
基礎問題精講



Eプラン  
②

探究的な学びを深める  
モバイルプロジェクター活用

—CASIOパッケージプラン②—



## ● 概要・ポイント

- 主体的・対話的で深い学びを実現するために、モバイルプロジェクター(モバイルバッテリー付)とモバイルスクリーンを導入し、グループで課題を追求する形で授業を展開。教室を選ばず、他の授業や総合的な探究などでも活用が可能。
- 数理データサイエンスを可視化して学ぶパッケージと併せて使うことで学習効果が増大します。

	項目	個数	単価	小計 (円)
1	モバイルプロジェクターセット CX-F1-NB-SET(カラー：ネイビー)	計5台	199,000	計995,000
2	モバイルプロジェクターセット CX-F1-RD-SET(カラー：レッド)		199,000	
				合計 995,000

## できること

- 教室の中でも、教室の外や屋外でも協働的な学びを展開
- 明るい教室でも活用できるJIS規格の2000ルーメンの明るさ
- 最短2ステップ・約5秒投映で休み時間にセット可能
- モバイルバッテリー同梱で電源が無い場所でも使える
- 本体前面排気で、授業中でも動作音や熱風が気にならない
- ワイヤレス対応で、どの教室でも無線投映が可能
- 付属品①：モバイルバッテリー／付属品②：専用ケース／付属品③：モバイルスクリーン

## 留意点

- 上記数量・金額は参考値になります。
- 詳しくはお気軽にお問合せ下さい。

### 《DXハイスクールプラン お問い合わせフォーム》

下記をクリックしてフォームから入力をお願いします。

※ご不明点等ございましたらお気軽にお問い合わせ下さい。

⇒ [こちら](#)

[https://casio-gakuhon.my.salesforce-sites.com/ccavisca/CC\\_TakeSurvey?id=a015j0000093uibEAA&cId=none&caId=none&IId=none](https://casio-gakuhon.my.salesforce-sites.com/ccavisca/CC_TakeSurvey?id=a015j0000093uibEAA&cId=none&caId=none&IId=none)

## 持ち運べる大画面

SMART-STYLE PROJECTOR

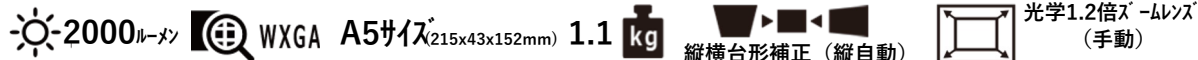
### FORESIGHT VIEW

CX-F1-NB-SET ×価格：OPEN

CX-F1-RD-SET ×価格：OPEN



基本仕様



LampFree  
CASIO Green Technology



KNOWLEDGE NAVY (NB)



EXPRESSION RED (RD)

### FORESIGHT VIEW DXハイスクールセット

- ・付属品①：モバイルバッテリー
- ・付属品②：専用ケース
- ・付属品③：モバイルスクリーン



スマートな  
授業を実現する  
スターターセット！

※数量限定



# モジュール一覧

### ●01 デジタルものづくり

- 3Dプリンタ等

	項目	個数	単価	小計（円）
1	3Dプリンタ	3	100,000	300,000
2	3Dスキャナ	2	100,000	200,000
3	レーザーカッター	1	300,000	300,000
4	A1プラスプリンタ	1	200,000	200,000
				合計 1,000,000

#### できること

- 通常の3Dプリンタ（フィラメントを溶かして積層する）
- オートレベリング機能あり
- 3Dプリンタの接続は無線LAN経由可能
- コップ、人形などの小さめの三次元物体のスキャン
- 人間、自動車などの中程度の三次元物体のスキャン
- レーザーによる刻印&切断(アクリル板&木材可能)
- 完全密閉式&炎検知による安全、煙等の強制外部排気
- インクボトルタイプによる低コスト印刷可能な大判プリンタ

#### 留意点

- 3Dプリンタは造形にかなりの時間がかかる（高さ10cm程度の小物で4時間程度）
- 3Dスキャナでスキャンする際は、ある程度の慣れが必要
- レーザーカッターを使用する際は、建物外に排気を出す必要あり
- レーザーカッターを使用する際は、安全管理上、教師がつくことが望ましい
- A1プラスプリンタのインク補充はインクボトルで行う（その分、印刷コストが低減する）
- A1プラスプリンタは、A4プリンタとしての使用も可能
- 制御ソフトウェアは無料のものを使用する想定。有料のものを使う場合は追加料金が必要

## ●02-① IoT【A】

- 簡単に組み立てる外部機器
- 詳しくない人でも可能

	項目	個数	単価	小計（円）
1	小型コンピュータ ・ <a href="#">スクーミーボード</a>	50	10,000	500,000
2	センサー20種類 (タッチセンサー、LED、明るさセンサー、スイッチ、磁気センサー、7セグ表示器、フルカラーLED、音センサー、通過センサー、土壌水分センサー、スピーカー、温度センサー、距離センサー、加速度センサー、コネクタ延長ケーブル、赤外線送信センサー、赤外線受信センサー、気圧センサー、振動スイッチ、振動モーター)	5	100,000	500,000
				合計 1,000,000

### できること

※個数、単価等については、参考値です。予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

#### 【ボードの特徴】

- 半田付けなしにセンサを使ったIoT工作ができる
- ビジュアルプログラミング、C言語、Python、JavaScriptでの開発が可能
- 別途ハードウェア購入で、API連携が可能になる（開発はブロックでもコーディングでも可能）

#### 【学習サポート】

- 株式会社スクーミーをはじめとする様々な企業から、情報 I・II や総合的な探究の時間に関する学習指導案、学習パッケージの提供
- メタバース空間でのサポートに対応しており、地域を超えた生徒の交流や質問や問題を報告できる環境が整備されている
- 生徒独自で学べる学習教材が用意されており、生徒1人ひとりの進度に合わせて学習することができる（4ヶ月（70時間目安））
- 総合的な探究、課外活動の出口としての地域大会、全国規模の大会が準備されている

#### 【データ分析】

- センサーによって取得したデータを見ることができる、ウェブアプリの作成が可能
- センサーによってデータを取得し、GoogleスプレッドシートやExcelに自動入力することができるので、データ分析の学習に最適
- センサーの取得したデータとAIを活用して、データ分析を行うことができる

### 留意点

- 無線通信機能を使うには別途ハードウェアが必要
- USB接続には付属の変換ケーブルを使用する必要あり
- センサーは100種類あり、ご希望に合わせて20種類を自由に組み合わせることができます

※詳しくは下記にお問い合わせください。  
<https://hello.schoomy.com/officialline-01/>



### ●02-② IoT【A】

- 「情報Ⅱ」の探究、総合的な探究、理数探究で活用できる
- 簡単に取り組める外部機器
- 詳しくない人でも可能

	項目	個数	単価	小計（円）
1	小型コンピュータ： <a href="#">SPACEBLOCK®（スペースブロック）</a>	50	5,000	250,000
2	モジュール・センサ・パーツ8種類 (8x8 RGB LED、圧電スピーカー、180°マイクロサーボ、ジャイロセンサ、 超音波距離センサ、明るさセンサ、温度センサ、エンジニアボックス) ※モジュール・センサー・パーツの種類や個数は変更可能	50	13,500	675,000
3	クラウドアカウント	50	1,500	75,000
				合計 1,000,000

#### できること

- 半田付けなしにセンサを使ったIoT工作ができる
- インストール不要でブラウザからクラウド開発環境が利用可能
- 豊富な事例の提供が可能
- 教務補助ツールにより探究課題や小テストの作成が可能
- USBケーブルでコンピュータと繋ぐことでクラウド開発環境からセンサ値のリアルタイム出力やグラフ化が可能
- microSD（別売）にセンサ値の記録が可能
- 付属電池ボックスを使った単体での動作

#### 留意点

- プログラミング言語はスクラッチライクなビジュアル型、またはJavaScriptかC/C++
- 開発用のパソコンやタブレットをインターネットに接続することによりクラウド開発環境の利用が可能
- 無線通信機能を使うには別途ハードウェアが必要
- 次年度以降、クラウド開発環境を維持するにはクラウドアカウントが必要  
(例) 1アカウント1,500円（50アカウントなら75,000円）

## ●03-① IoT【B】

- 「情報Ⅱ」の探究、総合的な探究、理数探究で活用できる
- やや高度な外部機器
- 専門学科等に適する

	項目	個数	単価	小計（円）
1	小型コンピュータ ・ <a href="#">スクーミーボード</a>	50	10,000	500,000
2	センサー20種類 (タッチセンサー、LED、明るさセンサー、スイッチ、磁気センサー、7セグ表示器、フルカラーLED、音センサー、通過センサー、土壌水分センサー、スピーカー、温度センサー、距離センサー、加速度センサー、コネクタ延長ケーブル、赤外線送信センサー、赤外線受信センサー、気圧センサー、振動スイッチ、振動モーター)	5	100,000	500,000
				合計 1,000,000

### できること

※個数、単価等については、参考値です。予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

#### 【ボードの特徴】

- 半田付けなしにセンサを使ったIoT工作ができる
- ビジュアルプログラミング、C言語、Python、JavaScriptでの開発が可能
- 別途ハードウェア購入で、API連携が可能になる（開発はブロックでもコーディングでも可能）

#### 【学習サポート】

- 株式会社スクーミーをはじめとする様々な企業から、情報Ⅰ・Ⅱや総合的な探究の時間に関する学習指導案、学習パッケージの提供
- メタバース空間でのサポートに対応しており、地域を超えた生徒の交流や質問や問題を報告できる環境が整備されている
- 生徒独自で学べる学習教材が用意されており、生徒1人ひとりの進度に合わせて学習することができる（4ヶ月（70時間目安））
- 総合的な探究、課外活動の出口としての地域大会、全国規模の大会が準備されている

#### 【データ分析】

- センサーによって取得したデータを見ることができる、ウェブアプリの作成が可能
- センサーによってデータを取得し、GoogleスプレッドシートやExcelに自動入力することができるので、データ分析の学習に最適
- センサーの取得したデータとAIを活用して、データ分析を行うことができる

### 留意点

- 無線通信機能を使うには別途ハードウェアが必要
- USB接続には付属の変換ケーブルを使用する必要あり
- センサーは100種類あり、ご希望に合わせて20種類を自由に組み合わせることができます

※詳しくは下記にお問い合わせください。  
<https://hello.schoomy.com/officialline-01/>

### ●03-② IoT【B】

- 「情報Ⅱ」の探究、総合的な探究、理数探究で活用できる
- やや高度な外部機器
- 専門学科等に適する

	項目	個数	単価	小計（円）
1	小型コンピュータ： <a href="#">SPACEBLOCK®（スペースブロック）</a>	50	5,000	250,000
2	モジュール・センサ・パーツ16種類 (8x8 RGB LED、圧電スピーカー、180°マイクロサーボ、360°連続回転サーボ、ジャイロセンサ、超音波距離センサ、赤外線モーションセンサ、赤外線回避センサ、ライントラッキングセンサ、タッチパッド、明るさセンサ、温度センサ、土壌水分センサ、スペースボール、エンジニアボックス、ジャンパーワイヤセット) ※モジュール・センサー・パーツの種類や個数は変更可能	25	27,000	675,000
3	クラウドアカウント	50	1,500	75,000
				合計 1,000,000

#### できること

- フルカラー8x8LEDパネルとセンサを使った電子掲示板
- スペースボールとLEDやジャイロセンサを使ったプログラマブルなボールによる新しいスポーツの開発
- LEDや圧電スピーカー、サーボモーターを使った電子工作  
※電子工作キットの提供など、セット内容のカスタマイズも可能
- 教務補助ツールにより探究課題や小テストの作成が可能
- USBケーブルでコンピュータと繋ぐことでクラウド開発環境からセンサ値のリアルタイム出力やグラフ化が可能
- microSD（別売）にセンサ値の記録が可能
- 付属電池ボックスを使った単体での動作

#### 留意点

- プログラミング言語はスクラッチライクなビジュアル型、またはJavaScriptかC/C++
- 開発用のパソコンやタブレットをインターネットに接続することによりクラウド開発環境の利用が可能
- 無線通信機能を使うには別途ハードウェアが必要
- 次年度以降、クラウド開発環境を維持するにはクラウドアカウントが必要  
(例) 1アカウント1,500円（50アカウントなら75,000円）

※詳しくは右記にお問い合わせください。フォーム <https://spaceblock.jp/contact> メール [support@spaceblock.jp](mailto:support@spaceblock.jp)

### ●03-③ IoT【B】

- やや高度な外部機器
- 専門学科等に適する

	項目	個数	単価	小計（円）
1	Arduino互換スターターキット	50	10,000	500,000
				合計 500,000

※個数、単価等については、参考値です。予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

### できること

- ロボットカーキットを使ったラインレース、赤外線障害物回避
- 超音波センサを使った距離測定、障害物回避
- 水分センサ&アクチュエーターを使った自動水やり
- Arduinoボード+表示装置による数当てゲーム

### 留意点

- 説明書が英文(英語の勉強を兼ねると考えればメリット)
- 言語はスクラッチライクなビジュアル型、またはC言語によく似たテキスト型
- 無線通信を使う場合は別途モジュールの追加が必要



## ●04-① IoT【C】

- 「情報Ⅱ」の探究、総合的な探究、理数探究で活用できる
- Pythonが使える外部機器
- 情報Ⅰとの接続性が良好

	項目	個数	単価	小計（円）
1	小型コンピュータ ・ <a href="#">スクーミーボード</a>	50	10,000	500,000
2	センサー20種類 (タッチセンサー、LED、明るさセンサー、スイッチ、磁気センサー、7セグ表示器、フルカラーLED、音センサー、通過センサー、土壌水分センサー、スピーカー、温度センサー、距離センサー、加速度センサー、コネクタ延長ケーブル、赤外線送信センサー、赤外線受信センサー、気圧センサー、振動スイッチ、振動モーター)	5	100,000	500,000
				合計 1,000,000

### できること

※個数、単価等については、参考値です。予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

#### 【ボードの特徴】

- 半田付けなしにセンサを使ったIoT工作ができる
- ビジュアルプログラミング、C言語、Python、JavaScriptでの開発が可能
- 別途ハードウェア購入で、API連携が可能になる（開発はブロックでもコーディングでも可能）

#### 【学習サポート】

- 株式会社スクーミーをはじめとする様々な企業から、情報Ⅰ・Ⅱや総合的な探究の時間に関する学習指導案、学習パッケージの提供
- メタバース空間でのサポートに対応しており、地域を超えた生徒の交流や質問や問題を報告できる環境が整備されている
- 生徒独自で学べる学習教材が用意されており、生徒1人ひとりの進度に合わせて学習することができる（4ヶ月（70時間目安））
- 総合的な探究、課外活動の出口としての地域大会、全国規模の大会が準備されている

#### 【データ分析】

- センサーによって取得したデータを見ることができる、ウェブアプリの作成が可能
- センサーによってデータを取得し、GoogleスプレッドシートやExcelに自動入力することができるので、データ分析の学習に最適
- センサーの取得したデータとAIを活用して、データ分析を行うことができる

### 留意点

- 無線通信機能を使うには別途ハードウェアが必要
- USB接続には付属の変換ケーブルを使用する必要あり
- センサーは100種類あり、ご希望に合わせて20種類を自由に組み合わせることができます

※詳しくは下記にお問い合わせください。  
<https://hello.schoomy.com/officialline-01/>

### ●04-② IoT【C】

- 「情報Ⅱ」の探究、総合的な探究、理数探究で活用できる
- JavaScriptが使える外部機器
- 情報Iとの接続性が良好

	項目	個数	単価	小計（円）
1	小型コンピュータ： <a href="#">SPACEBLOCK®（スペースブロック）</a>	50	5,000	250,000
2	モジュール・センサ・パーツ21種類 (8x8 RGB LED、圧電スピーカー、180°マイクロサーボ、360°連続回転サーボ、ジャイロセンサ、 マイクセンサ、超音波距離センサ、赤外線モーションセンサ、赤外線回避センサ、 ライントラッキングセンサ、タッチパッド、明るさセンサ、温度センサ、水位センサ、 土壌水分センサ、0.96インチOLEDディスプレイ、二酸化炭素センサ、カラーセンサ、 スペースボール、エンジニアボックス、ジャンパーワイヤセット) ※モジュール・センサー・パーツの種類や個数は変更可能	20	33,750	675,000
3	クラウドアカウント	50	1,500	75,000
				合計 1,000,000

#### できること

- 20種類以上のモジュールやセンサ、パーツが使用可能
- 小型コンピュータ+センサ+表示装置による計測器
- 社会課題解決のためプロトタイピング  
※電子工作キットの提供など、セット内容のカスタマイズも可能
- 教務補助ツールにより探究課題や小テストの作成が可能
- USBケーブルでコンピュータと繋ぐことでクラウド開発環境からセンサ値のリアルタイム出力やグラフ化が可能
- microSD（別売）にセンサ値の記録が可能
- 付属電池ボックスを使った単体での動作

#### 留意点

- プログラミング言語はスクラッチライクなビジュアル型、またはJavaScriptかC/C++
- 開発用のパソコンやタブレットをインターネットに接続することによりクラウド開発環境の利用が可能
- 無線通信機能を使うには別途ハードウェアが必要
- 次年度以降、クラウド開発環境を維持するにはクラウドアカウントが必要  
(例) 1アカウント1,500円（50アカウントなら75,000円）

### ●04-③ IoT【C】

- Pythonが使える外部機器
- 情報Iとの接続性が良好

	項目	個数	単価	小計（円）
1	micro:bitスターターキット	50	6,000	300,000
2	micro:bitセンサーセット	50	6,000	300,000
				合計 600,000

#### できること

- micro:bit本体にあるサウンド、加速度、電子コンパス、照度センサーの使用
- micro:bit本体にある5X5LED表示、スピーカーの使用
- 付属入出力とブレッドボード&部品を使ったLEDやサーボモーターを動かす電子工作
- 付属電池ボックスを使ったmicro:bit単体での動作
- ソケットによる着脱式のセンサ&アクチュエータ37種類

#### 留意点

- 説明書が英文(英語の勉強を兼ねると考えればメリット)
- プログラミング言語はスクラッチライクなビジュアル型、またはPythonかJavaScript
- micro:bit本体のみでBluetooth通信可能

### ●05-① 高機能パソコン

- GPU内蔵、AI対応、高速処理

	項目	個数	単価	小計 (円)
1	グラフィックボード内蔵ノート	22	140,000	3,080,000
2	Windows11Pro upgrade	22	10,000	220,000
				合計 3,300,000

#### できること

- 動画編集、画像編集
- 3Dモデリング
- VR&ARソフトウェア開発
- GPUを使用したAI学習

#### 留意点

- 有料ソフトウェア（Adobe等）を使用する場合は、別途ライセンスの準備が必要
- 編集ソフトウェアを使用する場合は、それなりの知識と技能が必要
- 3Dモデリングソフトを使用する場合は、モデリングについての知識が必要
- VR&ARソフトウェア開発をする場合は、VR&ARに関する知識、必要に応じて機材が必要
- GPUを使用したAI学習については、環境設定&開発についての知識が必要
- コンピュータ教室にある現行機種に追加することを想定



### ●05-② 高性能パソコン

- LiDARスキャナ搭載したiPad Proで空間の位置データを収集し、MacBookと組み合わせてAR制作やプログラミングなどを行うことができます。PencilやiPadをMacBookと連携させることでより表現の幅が広がります。

	項目	個数	単価	小計（円）
1	MacBook Air（13.3インチ、M2チップ）	20	148,000	2,960,000
2	iPad Pro（11インチ）	20	124,800	2,496,000
				合計 5,456,000

※個数、単価等については、参考値です。予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

#### できること

- 動画編集、画像編集
- 3Dモデリング
- VR&ARソフトウェア開発
- GPUを使用したAI学習

#### 留意点

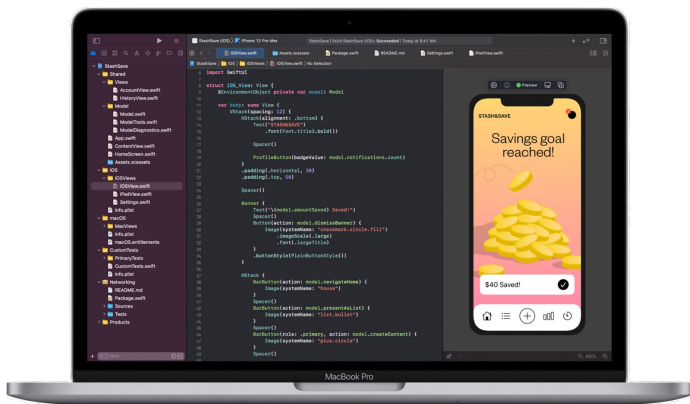
- 総合的な探究の時間において、検索や情報収集、分析や編集、まとめや発信にApple純正のアプリケーションが無料で使えます。
- Apple純正のアプリケーションは、Learning Center (<https://education.apple.com/learning-center>) で学習できます。
- Swiftの学習教材 (<https://www.apple.com/jp/education/higher-education/app-development/#curriculum>) が使えます。
- Apple Pencilで、iPadへの手書き入力やイラストが簡単になります。
- 有料ソフトウェア（Adobe等）を使用する場合は、別途ライセンスの準備が必要です。
- GPUを使用したAI学習については、環境設定&開発についての知識が必要です。

詳しくはこちら：

MacBook Air：<https://www.apple.com/jp/macbook-air/>

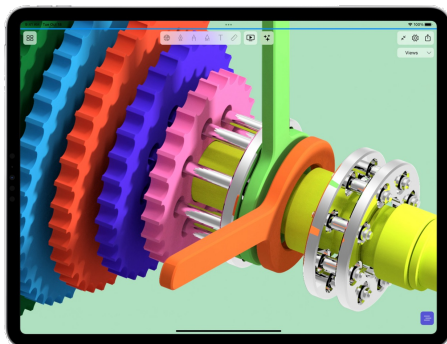
iPad Pro：<https://www.apple.com/jp/ipad-pro/>

## ●05-② 高性能パソコン



[13インチ MacBook Air](#)

- 8コアCPU
- 8コアGPU
- 16コアNeural Engine
- 8GBメモリ
- 256GB SSD ストレージ
- 1.24kg
- 最大15時間のワイヤレスインターネット



[11インチ iPad Pro](#)

- 8コアCPU
- 10コアGPU
- 16コアNeural Engine
- 8GBメモリ
- 256GB SSD ストレージ
- 466g
- LiDARスキャナ搭載
- 最大10時間のワイヤレスインターネット



[Apple Pencil \(USB-C\)](#)

### ●06 内部サーバ

- 校内設置、管理必要

	項目	個数	単価	小計（円）
1	汎用サーバ	2	200,000	400,000
2	モニタ	2	45,000	90,000
3	無線キーボード&マウス	2	5,000	10,000
				合計 500,000

#### できること

- クライアント&サーバの一般的実習
- サーバ連携を含む実習

#### 留意点

- OSはLinuxを想定
- セットアップ&運用にはある程度の知識が必要
- 有料ソフトウェアを使用する際は、別途ライセンス料が必要

### ●07 外部サーバ

- レンタルサーバ&クラウド

	項目	個数	単価	小計 (円)
1	レンタルサーバ (参考: <a href="#">sakuraレンタルサーバ12ヶ月一括</a> )	2	50,000	100,000
2	クラウド利用 (参考: <a href="#">AWS教育機関向け特別料金</a> )	1	200,000	200,000
3	生成AI有料アカウント	5	40,000	200,000
				合計 500,000

#### できること

- クライアント&サーバの一般的実習
- 外部公開用コンテンツマネジメントシステム(WordPressなど)の設置&活用
- Amazon Web Services を活用したシステム開発
- 生成AIの活用

#### 留意点

- AWSの追加従量料金は生徒1人あたり100ドルを超えた分に発生する。
- AWSを活用すれば、QRコードを使って文化祭の模擬店の支払いをキャッシュレスで行うなどのシステム開発が高校でもできる。
- レンタルサーバの活用を指導する場合、教員にはサーバに関する基本的知識が必要
- 生成AIの有料アカウントは、必要に応じて画像、動画、音声、文章など、活用する用途に応じたものを契約する。

## ●08 遠隔授業

- 75インチモニタ+音響

	項目	個数	単価	小計（円）
1	遠隔会議用マイク&スピーカー	2	40,000	80,000
2	75型テレビ	2	135,000	270,000
3	テレビスタンド	2	15,000	30,000
4	HDMI分配器	1	2,500	2,500
5	HDMIケーブル 5m	2	1,500	3,000
6	HDMIケーブル 1m	1	1,000	1,000
7	電源コード 5m 3個口	3	1,000	3,000
8	Webカメラ	1	4,000	4,000
				合計 393,500

※個数、単価等については、参考値です。予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

### できること

- 半径6mからの音を集めて会議可能
- 2台セットで教室全体をカバー（全員が普通に話をして先方に伝わる） ※最大範囲は24m
- スピーカーからの音も2台セットで教室全体をカバー
- Bluetooth接続で設置撤去が簡単（電池持続時間は15時間）

### 留意点

- 本体の充電が必要
- パソコンと1台目のワイヤレスマイクスピーカー、1台目と2台目のワイヤレスマイクスピーカーのBluetooth接続が必要
- レンタルサーバ活用を指導する場合、教員にはサーバに関する基本的知識は必要
- 教室前方に2台の大型テレビを配置することを想定



## ●09 ネットワーク

- 企業等で使う高機能なもの

	項目	個数	単価	小計（円）
1	L3スイッチ 8Port	11	59,000	649,000
2	L3スイッチ 18Port	1	103,800	103,800
3	無線LANルータ	11	6,500	71,500
4	スイッチングHUB 1GB 8Port	11	3,000	33,000
5	スイッチングHUB 1GB 16Port	1	6,000	6,000
6	LANケーブル 5m	100	500	50,000
7	LANケーブル 10m	10	1,000	10,000
8	電源コード 5m 3個口	12	1,000	12,000
9	有線LANアダプタ	42	1,500	63,000
				合計998,300円

※個数、単価等については、参考値です。予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

### できること

- L3スイッチを使った実習
- スwitchングハブを使った実習
- 無線LANルータを使った実習
- アドレスによるLANの切り分け
- ネットマスクの設定
- セキュリティ実習（ポート遮断、暗号化）

### 留意点

- 接続パソコンは1人1台情報端末を使用
- 指導にあたってはネットワークに関する知識が必要
- サーバを含む実習には、別途サーバが必要
- 無線LANルータの同時使用はパフォーマンス低下の可能性あり

### ● 10 理科実験

- データロガー&センサ

	項目	個数	単価	小計 (円)
1	データロガー&センサ	12	108,000	1,296,000
				合計 1,296,000

#### できること

- 理科実験の計測データをパソコン等に格納
- 実験に使用するセンサは本体に格納
- Bluetoothでデータ送信
- Windows,iPad,Chromeの全てに対応
- 最大9項目の同時測定が可能

**募集要項に該当しなかったため削除**

#### 留意点

- Windows,Chromeのソフトウェアは英語表記
- センサの追加は有料で可能
- スタンダード以外に、物理、生物化学に特化したモデルもあり
- 無線LANルータの同時使用はパフォーマンス低下の可能性あり

### ● 11 データ活用（大型モニタ）

	項目	個数	単価	小計（円）
1	27インチ 4Kモニタ	22	47,000	1,034,000
2	無線キーボード&マウス	22	3,000	66,000
				合計 1,100,000

#### できること

- 大型高精細モニタでデータ処理
- テンキー付きキーボードでスムーズな入力
- 表計算ソフトなどで広大な領域を表示
- 複数のデータを扱う際に画面切り替えの必要がない

#### 留意点

- ハードウェアは1人1台情報端末の使用を想定
- クラウドのデータ処理を活用すればビッグデータの利用も可能
- コンピュータ教室にある原稿機種に追加する形を想定

### ● 12 ビデオ編集（合成機材含む）

	項目	個数	単価	小計（円）
1	ビデオカメラ（国産4Kビデオカメラを想定）	1	90,000	90,000
2	三脚	1	10,000	10,000
3	ビデオライト（撮影用LEDライト（電池内蔵） ※屋外使用も想定）	1	30,000	30,000
4	ショットガンマイク（取材用）	1	20,000	20,000
5	持ち手（ムーブメント）（取材用）	1	7,000	7,000
6	コンデンサマイク（ナレーション用）	1	10,000	10,000
7	グリーンバック（クロマキー撮影用）	1	20,000	20,000
8	ビデオスイッチャー	1	200,000	200,000
9	コード、電池、充電器,など	1	113,000	113,000
				合計 500,000

#### できること

- 通常の撮影&編集
- グリーンバックによる合成
- 文化祭などの外部へのライブ配信
- 校内、校外のロケ

#### 留意点

- 編集用パソコンは別途購入する高機能パソコンを使用
- 簡単な編集は1人1台パソコンでも可能
- ビデオスイッチャーの使いこなしには習熟が必要

※個数、単価等については、参考値です。予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

## ● 13-① 画像・動画を加工するために必要なライセンス

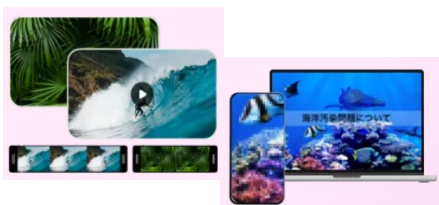
### 短時間でのデジタルクリエイティブ制作活動に ー 小中高校向けAdobe Express（無料）



情報科や探究学習、課外活動などでのデジタルクリエイティブ制作を、1つのアプリケーションだけで手軽に行うことができます。Adobe Expressは、プレゼン、ポスター、チラシ、ロゴ、動画、Webページなど、授業や課外活動で利用頻度が高いあらゆるメディアの制作が可能なオールインワンツール。ブラウザ上で動くWebアプリなので、Chromebookでも活用可能。詳細・利用申込は[公式Website](#)。

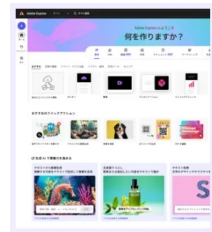
#### 多様なメディア形式の 制作が可能

画像やポスターはもちろん、1～2分の高品質の動画や、コーディングなしでWebサイトの作成・公開も。



#### 直感的な操作で すぐに使える簡単ツール

シンプルな画面で操作が簡単。Webツールなので、デバイスを問わず作品にアクセス可能。



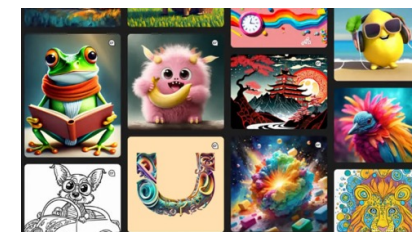
#### リアルタイム共同編集で グループワークにも最適

1つのファイルを共有して同時に書き込みや編集ができるので、ディスカッションのノートにも。



#### 話題の生成AIを搭載 (Adobe Firefly)

著作権の処理ができていないコンテンツのみを学習させているので学校での利用に安心。



ライセンスの種類	用途	最低発注数	最低発注数あたりの価格	対応デバイス（概略）
ユーザー指定ライセンス	生徒一人1台デバイス用 ※教職員も利用可	1本～	無料（利用申込のみ）	○ Windows PC ○ Chromebook △ iPad* △ Androidタブレット* ○ Mac

※詳しくは[最新のシステム構成](#)をご確認ください。  
※iPadやAndroidタブレット用にはモバイルアプリがありますが、Web版とは仕様が異なります。  
※2024年1月現在の情報です。予告なく変更になることがあります。



## ● 13-② 画像・動画を加工するために必要なライセンス



### 本格的なデジタルクリエイティブ制作活動に — Adobe Creative Cloud 小中高校向けライセンス

情報科や探究学習、課外活動などでの本格的なクリエイティブ制作に。Creative Cloudは、Illustrator、Photoshop、Premiere Proなど実社会のクリエイティブ制作の現場でも使われている20数種類のアプリケーションがすべて利用できるライセンスです。小中高校では特別価格（1ユーザーあたり年額約500円）で導入可能。カタログ・詳細は[公式Website](#)。

**動画制作** **Pr** Premiere Pro

**豊富な情報を瞬時に伝える動画編集**

テーマに沿った映像を制作する探究学習などでの活用のほか、学校や部活の紹介、SNSでの発信を前提とした映像作品づくりに。スマートフォンやタブレットで撮影した映像の編集に加えて、字幕や音声をつけて主張を明確にする完成度の高い制作を行います。

**ビジュアルプレゼンテーション**  
**写真・画像加工** **Ps** Photoshop

**内容や意図を鮮明に伝える画像編集**

情報デザインに画像編集・加工は不可欠。切り抜きや補正などの調整で主張や内容を明確に伝え、効果的なコミュニケーションを実現します。

**ビジュアルプレゼンテーション**  
**ポスターなどデザイン制作** **Ai** Illustrator

**研究・学習成果をわかりやすく伝える**

文字だけでなく自作イラストや編集加工した写真などを交え、受け手の興味を引き出す効果的なプレゼンを実現。必要な情報をわかりやすくまとめ、さらに魅力的に伝えるポスターやチラシのデザイン制作にも最適です。

ライセンスの種類	用途	最低発注数	最低発注数あたりの価格	対応デバイス（概略）
①共有デバイスライセンス	PC教室の共有PC用	50台分～	年額163,680円（税込） ※1台あたり約3,270円	○ Windows PC × Chromebook
②ユーザー指定ライセンス	生徒一人1台デバイス用 ※教職員も利用可	250人分～	年額135,300円（税込） ※1人あたり約540円	△ iPad ※モバイルアプリのみ △ Androidタブレット ※同上 ○ Mac

※メーカー参考価格です。詳しくは販売店にお問い合わせください。  
※デバイスの種類・仕様やOSにより利用できる製品が異なります。詳しくは[最新のシステム構成](#)をご確認ください。  
※2024年1月時点の情報です。予告なく変更になることがあります。

## ● 14 「情報Ⅱ」履修に向けた学習状況の把握

- 「検定試験 教科情報検定」受験により得ることができる「情報Ⅰ」学習状況の把握
- 教科情報検定を受験していただくことを前提に、「情報Ⅰ」学習状況把握のための受験が何回でもできる。

	項目	個数	単価	小計（円）
1	教科情報検定	100	2500	250,000
				合計 250,000

※個数、単価等については、参考値です。

### できること

- 「情報Ⅱ」履修のための「情報Ⅰ」学習状況の把握
- アセスメント・検定結果による学習領域ごとの理解度の把握
- 全国共通の指標で測定することによる、教員/学習者の到達地点の把握
- 「情報Ⅱ」履修に向けた学習計画のためのデータ取得
- 教科情報検定 合格による資格取得
- 資格取得による学習者の学習意欲の刺激・向上

### 留意点

- 教科情報検定の受験にはサーティファイ認定試験会場の登録が必要です。
- アセスメント目的の受験のみの活用はできません。
- アセスメント受験と検定受験との結果を比較することで、学習状況の把握を行います。

※本件について、詳細は以下担当者にお問合せください。

サーティファイ認定試験事務局 担当：大橋

Mail : [info@certify.jp](mailto:info@certify.jp) TEL : 0120-031-749

● 14 「情報Ⅱ」履修に向けた学習状況の把握 補足資料

教科情報検定 試験概要

 教科情報検定

「情報Ⅰ」に関する基礎的な知識を有し、  
その知識を活用し思考・判断・表現する力を認定する試験です。

主催・認定	サーティファイ 情報処理能力認定委員会
試験名	教科情報検定
受験資格	学歴、年齢等に制限はありません。
試験時間	60分
合格基準	得点率が60%以上とする。
出題形式	40設問程度 多肢選択式 (大学入試センター 試作問題「情報Ⅰ」同様の形式とする)

※本件について、詳細は以下担当者にお問合せください。

サーティファイ認定試験事務局 担当：大橋 Mail：[info@certify.jp](mailto:info@certify.jp) TEL：0120-031-749

### ● 14 「情報Ⅱ」履修に向けた学習状況の把握 補足資料

#### 教科情報検定 試験範囲

試験範囲は「情報Ⅰ」の学習範囲に則り、以下の通り定めております。

高等学校 学習指導要領（平成30年告示）情報に準拠し、以下の領域から出題する。

- (1) 情報社会の問題解決
- (2) コミュニケーションと情報デザイン
- (3) コンピュータとプログラミング
- (4) 情報通信ネットワークとデータの活用

※プログラミング言語については、共通テスト手順記述標準言語の仕様に準ずる。

参考：大学入学共通テストの「問題作成のねらい、範囲・内容」における表記

#### ○問題作成のねらい、範囲・内容

「第1（「問題作成の基本的な考え方」の項）」に示す問題作成の基本的な考え方を踏まえつつ、高等学校学習指導要領に準拠するとともに、高等学校学習指導要領解説及び高等学校で使用されている教科書を基礎とし、特定の事項や分野に偏りが生じないように留意する。

なお、高等学校における通常の授業を通じて身に付けた知識の理解や思考力等を新たな場面でも発揮できるかを問うため、教科書等で扱われていない資料等も扱う場合がある。

※「独立行政法人大学入試センター：令和6年度大学入学者選抜に係る大学入学共通テスト出題教科・科目の出題方法及び問題作成方針」より  
「第2 出題教科・科目の出題方法、問題作成のねらい、範囲・内容等」から抜粋

※本件について、詳細は以下担当者にお問合せください。

サーティファイ認定試験事務局 担当：大橋 Mail：[info@certify.jp](mailto:info@certify.jp) TEL：0120-031-749

## ● 14 「情報Ⅱ」履修に向けた学習状況の把握 補足資料

### 教科情報検定 試験結果

試験結果は以下の「結果帳票（PDFデータ）」にてお知らせします。  
 また、団体担当者の方には、受験者の結果一覧データもご提供します。

The screenshot shows a detailed exam result page. It includes the candidate's name (三郎 様), the exam date (2023年1月1日), and a table of scores for various topics. The '試験結果' table shows scores for '情報社会の問題解決', 'コミュニケーションと情報デザイン', 'コンピュータとプログラミング', and '情報通信ネットワークとデータの活用'. The '正答状況' table shows the status of each question (1-5) across multiple attempts, with a final score of 100% and a passing result.

学習領域別  
得点率

問別正答状況



※検定試験目的のご受験においては、合格者を対象に「オープンバッジ」も発行いたします。

オープンバッジは、ICT活用教育分野における国際的な技術標準規格に準拠したデジタル証明です。

オープンバッジとは：

<https://www.sikaku.gr.jp/js/jss/introduction/highlicense/>

※アセスメント目的の受験においては、合格認定を行いませんのでオープンバッジを発行しません。

※本件について、詳細は以下担当者にお問合せください。

サーティファイ認定試験事務局 担当：大橋 Mail：[info@certify.jp](mailto:info@certify.jp) TEL：0120-031-749



### ● 15 「情報Ⅱ」履修に向けたプログラミング能力の把握

- 情報Ⅱの履修に向けたプログラミング能力を詳細且つ客観的に測ることのできる試験です。
- エンジニアに必要な基礎知識を網羅していますので、「情報Ⅰ」の履修中はもちろん、「情報Ⅱ」に取り組む前の理解度チェックに最適です。スモールステップで受験していけるため、生徒のモチベーション向上、目標設定にも大きな効果があります。

	項目	個数	単価	小計（円）
1	プログラミング能力検定	100	3,000	300,000
2	プログラミング能力検定対策講座	100	1,000	100,000
3	プログラミング能力検定過去問題集オンライン	100	1,000	100,000
4	プログラミング能力検定タイピング	100	500	50,000
				合計 550,000

個数、単価等については、参考値です。詳しくはお問い合わせください。

#### できること

- 検定に合格すると「合格証書（電子版）」がもらえる
- 2025年より大学入学共通テストに導入される「情報」の対策にも繋がる（本検定では大学入試の出題範囲をカバーしています。）
- 合格・不合格を伝えるだけでなく、プログラミングの基礎知識を細かく分解して評価する成績表をお渡し
- プログラミングの概念を学習する順番に1～6段階で受験できるレベル別設計
- 言語は「ビジュアル言語」「テキスト言語」から選択可能。（普段の学習に近い言語を選ぶことでより実力を正確に測ることが出来ます。）

詳しくはこちら：株式会社プログラミング総合研究所 <https://programming-sc.com>

お問い合わせ：[https://programming-sc.com/contact\\_digiren\\_1/](https://programming-sc.com/contact_digiren_1/)

## ● 15 「情報Ⅱ」履修に向けたプログラミング能力の把握

### プロ検成績表イメージ



XXXX年X月検定

**成績表**

● プログラミング概念別の結果分析詳細

氏名	検定 太郎	学年	小学4年生
会場名	プロ検塾 池袋校	登録番号	11

● あなたの受験結果

受験レベル	合格	正答数	16 / 20 問
Python レベル1	合格 	正答率	80.0%
		受験者全体の正答率	86.3%

● プログラミング概念分類別の正答率

概念分類	説明	あなた	全体
制御	条件などによってプログラムをコントロールするための概念をまとめたものです。出力、繰り返し、条件分岐、順次実行、タイマーなどの概念を総称しています。	あなた 77.5%	全体 91.6%
演算子	プログラムが保持する値の演算に関する概念をまとめたものです。四則演算、文字列連結、論理演算などの概念を総称しています。	あなた 100.0%	全体 91.3%
変数	プログラムが保持する値に関する概念をまとめたものです。変数の宣言、代入、型などの概念を総称しています。	あなた 100.0%	全体 93.8%

解答結果の分析

あなたは「演算子」「変数」がよく理解できています。「演算子」はプログラムでデータを扱う際に必要な基礎知識ですので、様々なパターンのデータを扱うプログラムを作ることで伸ばしていきましょう。「変数」はプログラムを効率良く作るために必要な知識ですので、様々な場面で使ってみて理解を深めていきましょう。苦手な概念は学習アドバイスを元にもう少し練習していきましょう。

概念分類	概念	概念の説明	結果	学習アドバイス
制御	出力 print()	値を出力することができる	△	「print(「プロ検」)」と記述し、出力を確認してみましょう。「num = 1」の後に「print(num)」を実行して動作を確認してみましょう。
	if文 if	if文を使用して条件によって動作を変えることができる	△	if文に「num > 10」「num < 10」や「num == 10」等の条件を入れて、変数numの値に応じた動作を確認してみましょう。
	if文 else	if~else文を使用して条件に合っている場合と合っていない場合で動作を変えることができる	○	
	if文 elif	if~elif文を使用して複数の条件によって動作を変えることができる	△	if文、elif文に「num > 10」「num < 10」や「num == 10」等の条件を入れて、変数numの値に応じた動作が実行されることを確認してみましょう。
	順次実行	プログラムは上から順番に実行されることを理解している	○	
演算子	演算子 +、-	四則演算を行うことができる	○	
	等号 ==	値や文字が「等しいとき」という条件を作成することができる	○	
	不等号 >、<	値が「～より大きい(小さい)とき」という条件を作成することができる	○	
変数	変数 宣言、代入	変数を宣言、代入することができる	○	
	変数 再代入	変数に値を再代入することができる	○	

詳しくはこちら：株式会社プログラミング総合研究所 <https://programming-sc.com>

お問い合わせ：[https://programming-sc.com/contact\\_digiren\\_1/](https://programming-sc.com/contact_digiren_1/)

## ● 15 「情報Ⅱ」履修に向けたプログラミング能力の把握

### プロ検の背景にあるCFRP

- **CFRP**(Common Framework of Reference for Programming Skills)は、これまで定量的な評価が難しかったプログラミング能力について、プログラミング言語に寄らず、同一の基準で学習・教授・評価するための共通参照枠です。
- CFRPは、汎用的且つ詳細な形でプログラミングの基礎知識を概念としてまとめ、その習得度を3つの段階（簡単な処理のプログラムを作成可能、複雑な処理のプログラムを作成可能、実用性の高いプログラムを作成可能）及び6つのレベルとして定義しています。
- 6つのレベルはさらに60以上のプログラミング概念に分解することができ、具体的にどのような知識が必要であるかを詳細に定義しています。
- プロ検はCFRPに準拠しており、ビジュアル言語またはテキスト言語（JavaScript/Python）にて受験が可能です。

CFRP			プロ検	
段階	レベル	レベル毎に「何ができるか」を示した習熟度一覧	ビジュアル言語	テキスト言語 (JavaScript/Python)
実用性の高い プログラムを 作成可能	6	プログラムで複数の処理を同時に行うことができることを理解している。オブジェクト指向の基本的な概念を理解し、他の人が利用しやすいプログラムを作ることができる。		6
	5	例外処理を理解し、より安定したプログラムを作ることができる。データ型の比較、多次元配列、ソートの理解により、複雑なデータ処理を行うことができる。		5
複雑な処理の プログラムを 作成可能	4	定数の概念を理解し、使用することができる。繰り返しや分岐を様々な条件でコントロールする方法や配列要素の追加・削除・検索などの操作を理解し、複雑な処理のプログラムを自由に作ることができる。		4
	3	変数の型について理解し、多様なデータをプログラムで扱うことができる。乱数の概念を理解し、使用することができる。関数の基本的な概念を理解し、効率的に可読性の高いプログラムを作ることができる。	4	3
簡単な処理の プログラムを 作成可能	2	文字列の操作をすることができる。論理演算により複雑な条件を作成することができる。配列の基本的な概念を理解し、使用することができる。特定の条件下で処理を繰り返すことができ、簡単な処理のプログラムであれば自由に作ることができる。	3	2
	1	簡単な演算、データの表示の方法を理解している。変数の基本概念を理解し、使用することができる。データの大小や一致/不一致の条件で処理を分岐させるプログラムを作ることができる。	2 1	1

詳しくはこちら：株式会社プログラミング総合研究所 <https://programming-sc.com>

お問い合わせ：[https://programming-sc.com/contact\\_digiren\\_1/](https://programming-sc.com/contact_digiren_1/)

### ●00 高大連携&企業連携

	項目	個数	単価	小計（円）
1	人件費	50~100	20,000	1000,000~2000,000
2	打ち合わせ費用	1	100,000	100,000
				合計1,100,000

※個数はカリキュラムによって変動あり

外部機関との連携については、コーディネーターなども含んで一定額が必要。  
企業や大学からの人材提供については、デジタル人材共創連盟が支援することが可能

#### (1) デジタル人材共創連盟に登録された講師の活用

データサイエンス、デジタルシチズンシップ、情報産業など多様な分野の講師

#### (2) デジタル人材共創連盟と連携する大学や学会の協力

包括連携協定を結んだ大学、協力関係にある学会の協力。

教育委員会と大学や学会の協力関係を作るコーディネーター的役割を弊連盟が果たす。

#### (3) デジタル人材共創連盟の会員企業の協力

Adobe社による情報デザインの研修・授業

Avad社、Schoomy社によるIoT及びプログラミング、計測・制御の研修・研修

その他多様な協力が可能

#### (4) デジタル人材共創連盟の会員以外の企業の協力

電気・電子・情報通信産業経営者連盟を通じた全国に展開する企業の協力

教育委員会と業界団体等との協力関係を作るコーディネーター的役割を弊連盟が果たす。

#### [デジ連認定講師一覧](#)

※デジ連認定講師以外の分野をご希望の場合は、ご相談ください。

その他詳しくは[お問い合わせ](#)ください。

※個数、単価等については、参考値です。予告なく変更になる場合がございます。ご了承ください。

### ●00-1 情報デザイン実践

- 「情報Ⅱ」のコンテンツ制作能力が身に付く
- 探究学習のポイントである「課題の設定（何を伝えるか）」「情報の収集（取材）」「整理・分析（編集）」「まとめ・表現（上映会）」を実践することができる
- 情報発信者になることで、高度な情報モラル、メディアリテラシーを学ぶことができる
- 取材先を大学の研究室などにすることで、最先端の研究に触れ、該当する分野に興味を持ち、理系人材の育成つながる

	項目	個数	単価	小計 (円)
1	人件費	20	30,000	600,000
2	打ち合わせ費用	1	100,000	100,000
				合計 700,000

※個数、単価等については、参考値です。詳しくはお問い合わせください。

#### できること

- プロの動画制作者から動画制作のアドバイスを受けられる
- 探究学習の成果を動画で表現でき、コンテストにも応募できる ([中高生探究コンテスト](#)など)
- 「情報Ⅱ」の探究活動として取り組むこともできる

#### 留意点

- 編集用パソコンは「モジュール5：高機能パソコン」で購入する機材を使用
- 撮影機材に関しては「モジュール12：ビデオ編集」で購入する機材を使用
- 有料ソフトウェア（Adobe等）を使用する場合は、別途ライセンスの準備が必要

#### 参考事例 経済産業省令和5年度「未来の教室」実証事業採択「ティーンディレクター」

YouTube : <https://www.youtube.com/@teendirector> note : <https://note.com/teendirector/>

本件について、下記担当者にお問い合わせください。

株式会社ディレクションズ 担当：榎崎 [teendirector@directions.jp](mailto:teendirector@directions.jp)



### ● 00-2 地域から世界で活躍する理系人材の創出

- アントレプレナーシップに関する既存講座を利用することで、目的に沿ったデータ活用を行い、データサイエンスの概念と技能を獲得する。
- 学校別コンテンツと専門講師により、地域に密着した市場調査を行うことで、情報Ⅱの「情報とデータサイエンス」について実践的に学ぶ。
- 実際に情報やネットワークを活用した起業家などから話を聞き、情報産業に向けた興味・関心、情報科を学ぶ意欲を高める。
- これらを通じて世界で活躍する理系人材を地域から創出する。

	項目	個数	単価	小計 (円)
1	アントレプレナーに関する既存講座利用料	5	60,000	300,000
2	地域に密着した素材を扱う学校別コンテンツ作成料	5	100,000	500,000
3	データサイエンティストや起業家などの専門講師派遣	2	200,000	100,000
4	学習基盤としてのコミュニケーションツール利用料	100~200	2,000	200,000~400,000
				合計 1,400,000

※個数、単価等については、参考値です。詳しくはお問い合わせください。

#### できること

- アントレプレナーシップ教育を進める中で情報Ⅱの内容を実践的に活用できる
- 市場調査などの実践的データ活用の中で、データサイエンスの内容を深めることができる
- 商品を販売するという具体的な目的を設定し、コンテンツ制作、動画制作を行うことで、情報Ⅱの「コミュニケーションとコンテンツ」の内容を実践的に学ぶことができる。
- データサイエンス、情報システム、コンテンツ制作などで起業している、生徒が「なりたい大人」から直接に話を聞き、学習意欲の向上につなげる。
- 学習基盤としてのコミュニケーションツールを日常的に活用し、デジタルの可能性を自ら見出す。

#### 留意点

- パソコンは生徒用の1人1台情報端末を使用する
- 表計算ソフト (Google Spreadsheet または Microsoft Excel) を使用する
- 可能であれば、市場調査など、学校外の活動を入れる。

本件について、下記担当者にお問い合わせください。  
株式会社ツクリエ 担当:渡邊 [ryota.watanabe@tsucree.com](mailto:ryota.watanabe@tsucree.com)

さいごに

## DXハイスクールプラン集について、お問い合わせ・ご相談を受付けています。

公募に向けてご相談を受付けております。（オンライン・無料）お気軽に[お問い合わせ](#)ください。

モジュールやプランの下部に提供元のお問い合わせが記載されている場合は、  
お手数ですがそちらにご連絡ください。

一般社団法人デジタル人材共創連盟（デジ連）は、中高生等のデジタル活動を支援する団体です。デジ連正会員からの応援に基づいて運営しています。



本連盟は、経済産業省「デジタル関連部活支援の在り方に関する検討会」が取りまとめた「Society5.0を見据えた中高生等のデジタル関連活動支援の在り方提言」（2022.3.31）の社会実装を担うものである。

▶経済産業省ウェブサイト：デジタル関連部活支援の在り方に関する検討会 提言

[https://www.meti.go.jp/shingikai/mono\\_info\\_service/digital\\_kanren\\_bukatsu/20220331\\_report.html](https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/digital_kanren_bukatsu/20220331_report.html)